

G20 開発に関する閣僚会合（概要）

（外務省 HP より抜粋）

9 月 23 日、米ワシントンにおいて G20 開発に関する閣僚会合が開催され、我が国より安住財務大臣及び山根外務副大臣が出席したところ、概要以下のとおり。

1. 日程、参加国

（1）日程、場所

平成 23 年 9 月 23 日（金曜日）17:00～20:00（於：米ワシントン）

（2）参加国・国際機関等

G20（日本、米国、英国、ドイツ、フランス、イタリア、カナダ、ロシア、EU、メキシコ、中国、インド、ブラジル、南アフリカ、韓国、オーストラリア、インドネシア、サウジアラビア、トルコ、アルゼンチン）、スペイン、エチオピア（アフリカ開発のための新パートナーシップ（NEPAD）運営委員会議長国）、赤道ギニア（アフリカ連合（AU）議長国）、アラブ首長国連邦（湾岸協力理事会（GCC）議長国）、シンガポール、関係国際機関（世界銀行、国際通貨基金（IMF）、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、国連開発計画（UNDP）、経済協力開発機構（OECD）等）、ゲイツ財団

2. 会合の意義

途上国の貧困削減にとって経済成長と雇用創出が不可欠であると同時に、世界経済・金融危機は脆弱層に多大な負担を与えたことに鑑み、国際経済協力の第 1 のフォーラムである G20 として開発課題に取り組むことの重要性を確認するため、初の閣僚会合が開催された。特に、途上国におけるインフラ整備と食料安全保障を中心に、昨年のソウル・サミットで合意された「開発に関する複数年行動計画」の進捗状況を確認するとともに、開発資金及び気候変動資金について議論が行われた。

3. 主要な成果等

会合の結果、閣僚コミュニケに合意したところ、概要は以下のとおり。

- 開発が G20 の主要課題であることを確認し、ソウル複数年行動計画に基づく G20 開発作業部会の進捗を歓迎。
- 途上国におけるインフラ投資を増大させるため、国際開発金融機関による行動計画、インフラ投資ハイレベル・パネルの作業を歓迎。
- 食料安全保障の改善に向け、農業研究における連携強化、責任ある農業投資の拡大、価格変動へのリスク対策、栄養と人道的な食料供給へのアクセス等に取り組むことを確認。
- 社会保護政策の強化、国際送金のコストの削減、民間投資促進、雇用創出、人材開発、国内資金動員及び貿易環境の改善に向けた提案を歓迎。
- ゲイツ財団による報告書の発表を踏まえ、開発資金における多様な関係者の参加と多様な資金の動員の重要性を認識。世界銀行・IMF による気候変動資金の報告書に期待。
- アジア開発基金及び国際農業開発基金の増資の成功を期待。
- 多様な経験と知識の共有を通じた、新しい協力のあり方を重視し、カンヌ・サミットに向けて G20 開発アジェンダにおける協力を強化。

G20 雇用労働大臣会合／結論文書／首脳への提言（仮訳）

2011 年 9 月 26～27 日、パリ

1. 雇用

- 雇用を経済政策の優先事項に位置づけること
- ディーセントな（＝働きがいのある人間らしい）仕事に就けるよう、若年者他の脆弱な立場のグループに準備をほどこすこと
- 一層の社会統合及び仕事へのアクセスのための労働市場政策を実施すること
- 関連国際機関の貢献を反映した雇用政策を実施すること

なお、雇用に関する政府間タスクフォースを以下のとおり設置する。

- ・ 次回大臣会合（2012 年、メキシコ）での議論に向けたインプットを行うこと
- ・ まずは若年者雇用を議題とすること
- ・ 報告先は雇用労働大臣とすること
- ・ 政府代表から成るタスクフォースとし、必要に応じて関係国際機関や労使への諮問を行えるものとする
- ・ 議長は現議長国とするか、又は共同議長も可とすること
- ・ 試行的に 1 年間に限り設置し、延長要否は雇用労働大臣が決定するものとする

2. 社会的保護

- 強力で持続可能な均衡の取れた経済成長と社会的一貫性を達成するために、各国事情に応じた社会的保護の床を構築すること
- 国際機関に対し、各国事情に応じた社会的保護の床の構築を支援するための各機関の活動の効果的な連携強化を呼びかけること
- 社会保護に係る知識の共有とキャパシティ・ビルディングのための北南協力、南南協力、マルチバイ方式の協力等の強化を求めること
- 各国事情に応じた社会的保護の床の実施に向けて効果的な資金調達を確保すること

3. 社会的権利、労働上の権利

- 「労働における基本的原則及び権利に関する ILO 宣言」の尊重を確実なものとする
- 国際労働基準を促進すること

4. 経済政策と社会政策の一貫性

- 2008 年の「公正なグローバル化のための社会正義に関する ILO 宣言」を完全
- に実施すること
- 経済政策と社会政策の一貫性を強化すること
- 国際機関間の一層の連携を強化すること

次回会合は 2012 年にメキシコが議長国となって開催することに合意した。